

# 福岡市電子調達システム

## 利用可能ブラウザ変更に伴う 各種設定・確認方法

### 目次

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 1. ポップアップの許可設定                 | P.1 |
| 2. 信頼済みサイトの確認                  | P.4 |
| 3. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法 | P.7 |

# 1. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。  
ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。  
ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

**[\*.] fukuoka.lg.jp**

- 「[」は左角カッコ  
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「\*」はアスタリスク  
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「]」は右角カッコ  
(「む」のキーから入力可能)

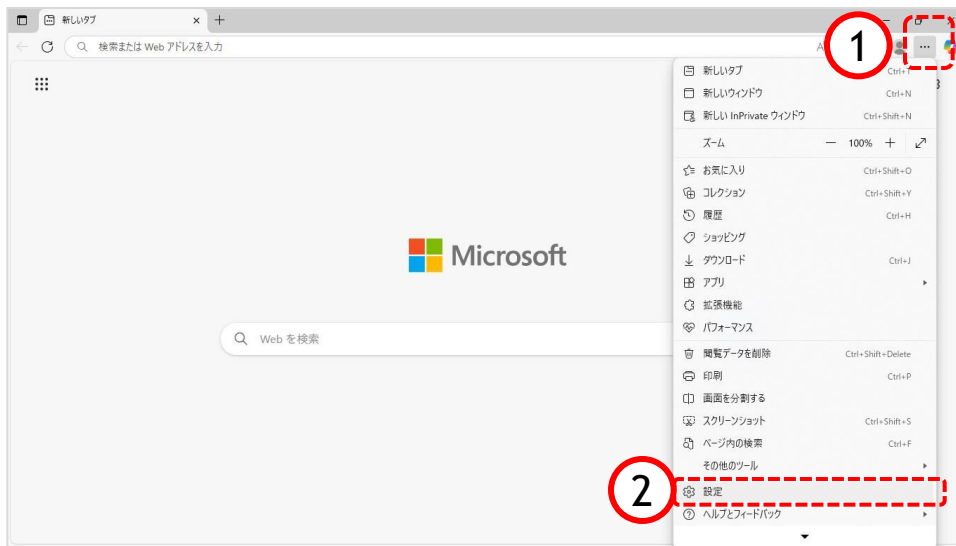
※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



半角、全角切り替えキー



キーボードのキー配列図 (一部抜粋)



手順①

以下の手順で、  
Microsoft Edge画面から設定画面開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。



手順②

設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「プライバシー、検索、サービス」 をクリックします。
- ④ 「サイトのアクセス許可」 をクリックします。



サイトのアクセス許可画面が表示されます。

⑤「すべてのアクセス許可」をクリックします。



すべてのアクセス許可画面が表示されます。

⑥「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



ポップアップとリダイレクト画面が表示されます。

⑦『ブロック済み (推奨)』欄のスイッチをオンになっていることを確認します。



⑧『ポップアップの送信とリダイレクトの使用を許可しました』欄の「サイトの追加」ボタンをクリックします。

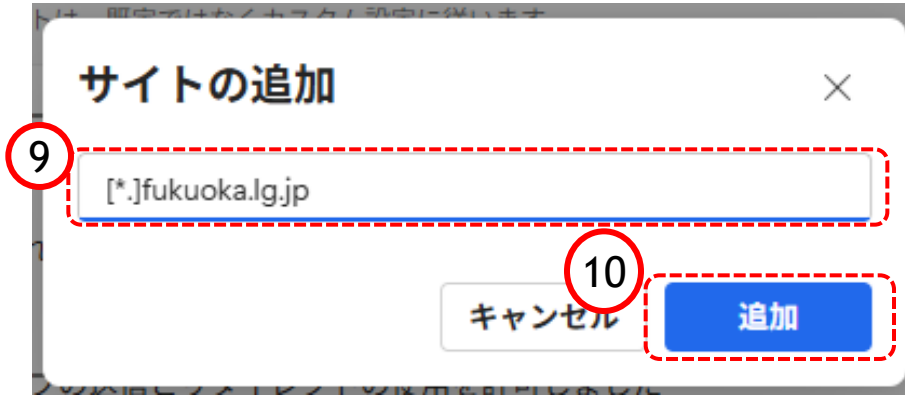
## 手順⑥

サイトの追加画面が表示されます。

⑨『サイト』欄のテキスト入力箇所に入力したアドレスを入力します。

入力するアドレスは、「[\*.]fukuoka.lg.jp」です。

⑩「追加」ボタンをクリックします。



## 手順⑦

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑪『ポップアップの送信とリダイレクトの使用を許可しました』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

⑫ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

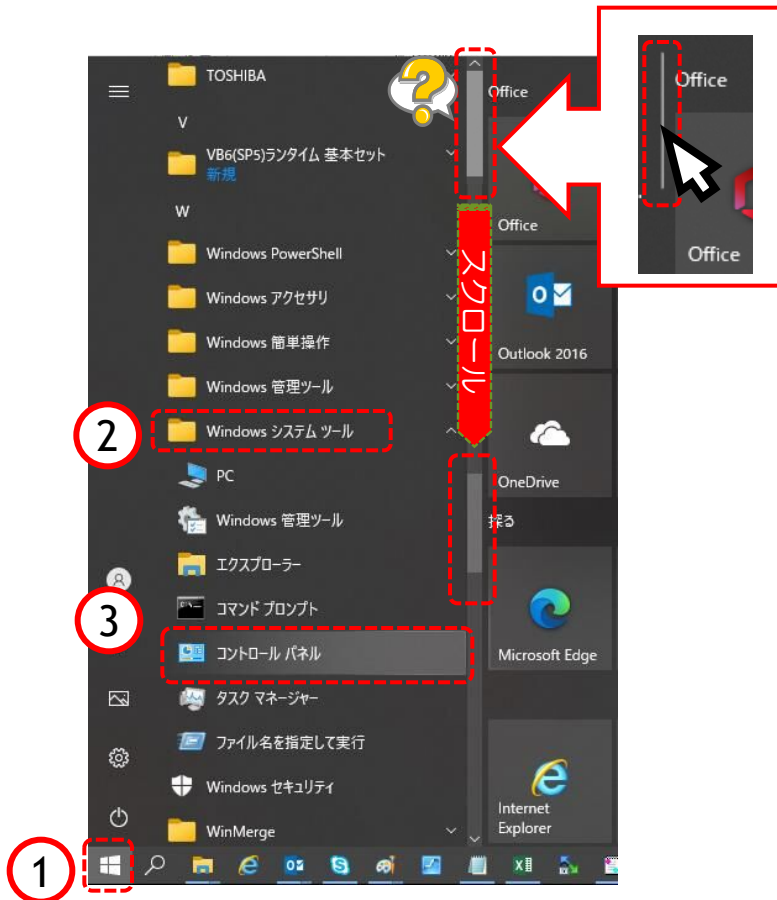
以上でポップアップの許可設定は終了です。



## 2. 信頼済みサイトの確認

電子調達システム使用時に、ポップアップブロック、ファイルのダウンロードがブロックされると、システムが正常に動作しないことがあります。  
インターネットオプションより、「信頼済みサイト」に電子入札システム、入札情報サービスシステムのサーバアドレス情報が登録されていることを確認します。

電子調達システム用 [https://\\*.fukuoka.lg.jp](https://*.fukuoka.lg.jp)



手順①

以下の手順で、

- ① 「スタート」をクリックします。
- ② 「Windowsシステムツール」ボタンをクリックします。
- ③ 「コントロールパネル」をクリックします。



下に移動する場合は、細いスクロールバーに

マウスを当てることで、スクロールバーが太く表示されます。スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。

手順②

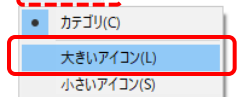
すべてのコントロールパネル項目画面が表示されます。

- ④ 「インターネットオプション」をクリックします。

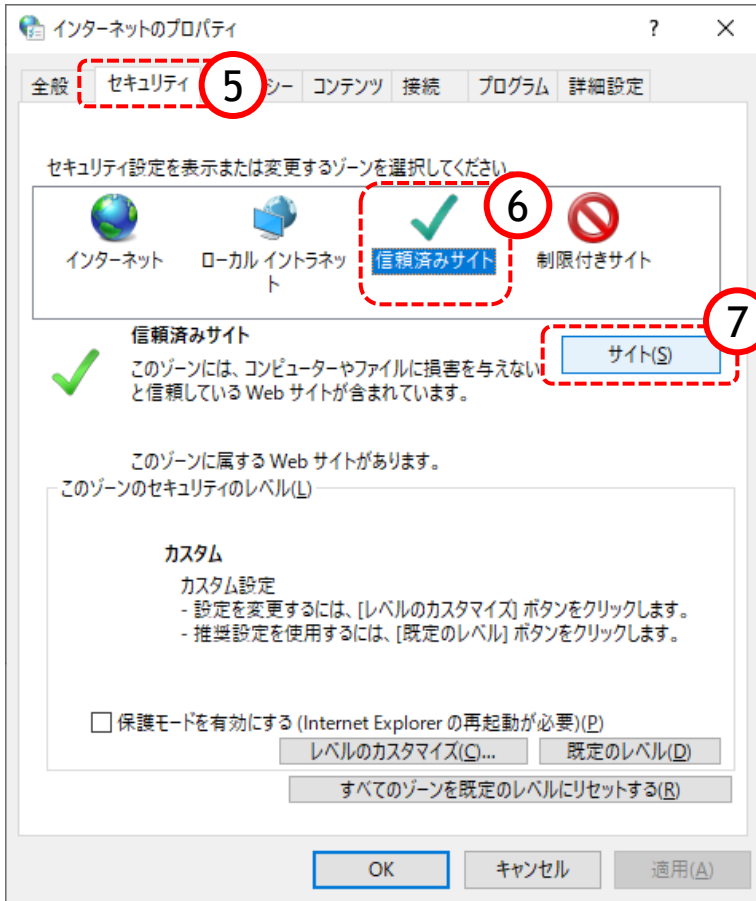


コントロールパネルの表示が左の画面と違う場合は、

表示方法: カテゴリ▼



表示方法「カテゴリ▼」をクリックして、「大きいアイコン」を選択してください。



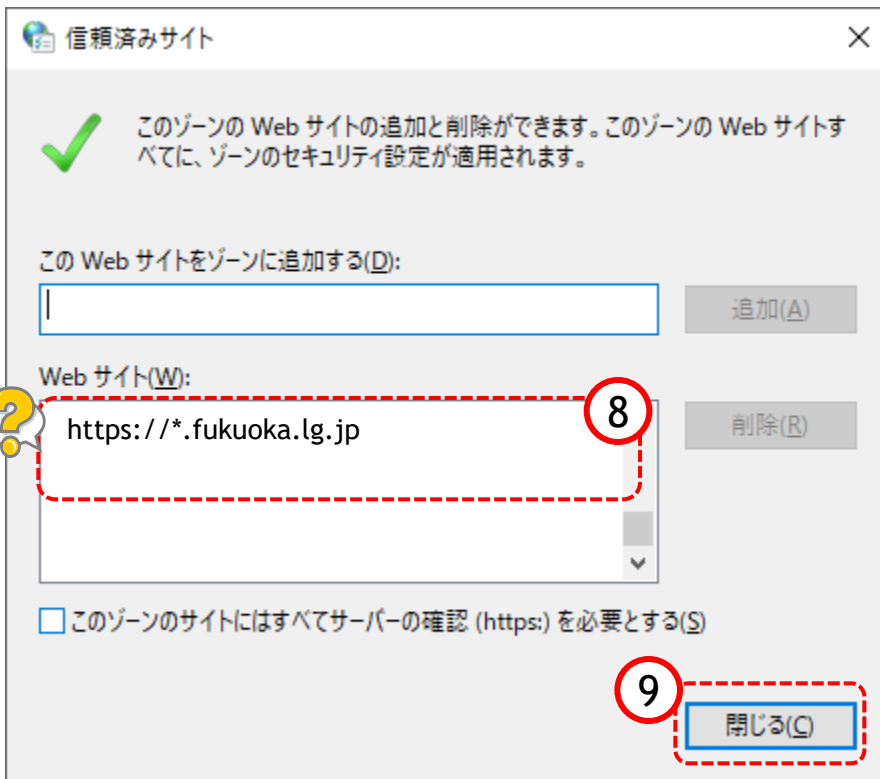
### 手順③

インターネットのプロパティ画面が表示されます。

⑤「セキュリティ」をクリックします。

⑥「信頼済みサイト」をクリックします。

⑦「サイト」をクリックします。



### 手順④

信頼済みサイト画面が表示されます。

⑧『Webサイト』欄にアドレスが登録されていることを確認します。

⑨「閉じる」ボタンをクリックします。



信頼済みサイトの登録がない場合は？

信頼済みサイトの登録方法（次ページ）より設定を行ってください。



## 信頼済みサイトの登録方法

信頼済みサイト

このゾーンに Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D): **1**  **2**

Web サイト(W): **3**

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S)

**4**

①『このWebサイトをゾーンに追加する』欄に登録が必要なアドレスを入力します。

入力前にテキスト箇所には何か文字が入っている場合はすべて削除してください。

②「追加」ボタンをクリックします。

③『Webサイト』に追加したアドレスが表示されます。

複数ある場合は、①から操作を繰り返します。

④「閉じる」ボタンをクリックします。

以上で信頼済みサイトの登録は終了です。

インターネットのプロパティ

全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定

セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。

インターネット ローカル イントラネット **信頼済みサイト** 制限付きサイト

**信頼済みサイト**

このゾーンには、コンピューターやファイルに損害を与えないと信頼している Web サイトが含まれています。

このゾーンに属する Web サイトがあります。

このゾーンのセキュリティのレベル(L)

カスタム  
カスタム設定  
- 設定を変更するには、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックします。  
- 推奨設定を使用するには、[既定のレベル] ボタンをクリックします。

保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)

**10**

### 手順⑤

インターネットのプロパティ画面に戻ります。

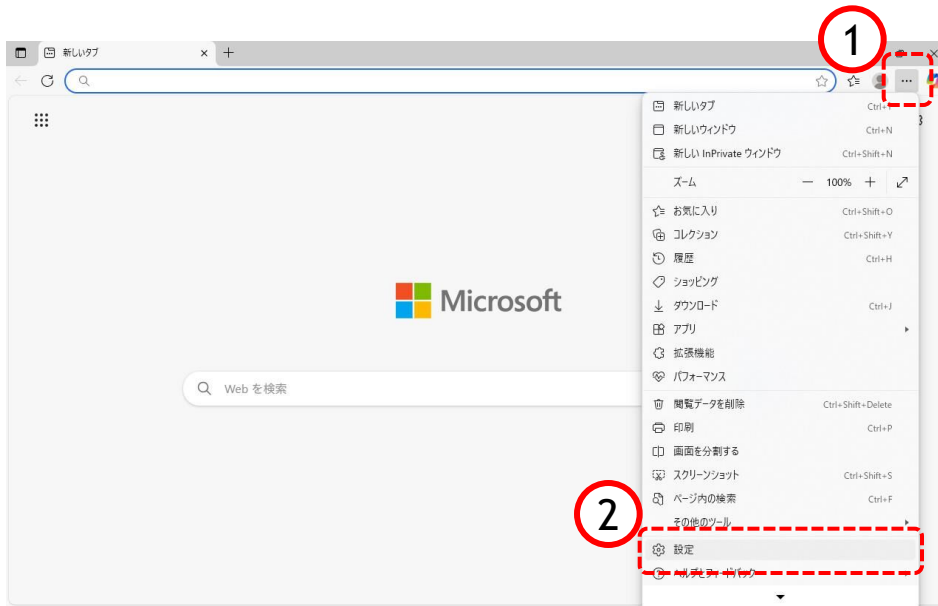
⑩「OK」ボタンをクリックします。

すべてのコントロールパネル項目画面に戻るので、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で信頼済みサイトの登録確認は終了です。

### 3. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

以下の設定をすることによって、Edgeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」か「保存」するか選択できるようになります。



以下の手順で、

- ① 「・・・」をクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



設定画面が表示されます。

- ③ 設定ページの左側に表示されているメニューから「↓ダウンロード」をクリックします。

- ④ 画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効  にします。